

技術者の為のスキル&マインド講座 [1]

私たち技術者は、「技術は人なり 心なり」を念頭に置いて、日々技術力の研鑽に励むことが重要と考えます。具体的には、技術力（スキル）と人間力（マインド）の両輪を磨いて、良い仕事をするのが技術者の目指す道と言えるかと思います。

そこで、ここでは「技術者の為のスキル&マインド講座」と名付けて、具体的には「仕事の作法」と「人生の作法」と銘打って、私のこれまでの技術者人生の中で心に響いた「先人の名言・箴言」をメールマガジンの一環として定期的にお届けすることとします。

2026.4.15 原 稔明

【仕事の作法】

- ・技術に携わる者は、常に顧客志向であらねばならない
・人間の知的行動に価値を生ませるものを「技術」といい、
それに携わる人々全てを「技術者」といいたいのである
『技士道十五ヶ条』西堀栄三郎
- ジャンルを超えた時、情報は一層アップする
ージャンルを超えるエネルギーをもてー
長谷川慶太郎
- 萬象ニ 天意^{まこと}覚ル者ハ 幸ナリ 人類ノ爲メ 國ノ爲メ
第23代土木学会長 青山士（あきら）

【人生の作法】

- ・人間の勉強をしいや
・『松下電機は何をつくっている会社か』と聞かれたら『人をつくる会社です。
併せて電気製品もつくっています』と言いなさい。
松下幸之助
- 小さいことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道
イチロー
- 遠くを謀るものは富み 近くを謀るものは貧す
それ遠くを謀るものは 百年のために松杉の苗を植う
二宮尊徳

西堀榮三郎のプロフィール

1903年(明治36)1月28日～1989年(平成元年)4月13日
京都府出身。京都帝国大学理学部科学科卒業

- ・ **第一次南極越冬隊隊長(1957年～58年) 54歳**
南極から帰国後『**異質の協力**』を何度も口に 隊員11人
- ・ 日本山岳協会会長
桑原武夫、今西錦司と共に登山家として活躍
「雪山賛歌」を作詞したことでも知られる
- ・ **日本原子力研究所**
- ・ モチベーション研究会創設者「**西堀かるた**」

主な著書

- 「南極越冬記」岩波新書、1958年
- 「創造力-自然と技術の視点から」講談社 1990年
- 「**技士道十五ヶ条**」朝日文庫

西堀榮三郎の言葉

西堀榮三郎の「技士道十五ヶ条」

1. 技術に携わる者は、「大自然」の法則に背いては何もできないことを認識する。
2. 技術に携わる者は、**感謝**して自然の恵みをうける。
・
6. 技術に携わる者は、常に注意深く、微かな異変、差異をも見逃さない。
7. 技術に携わる者は、創造性、とくに独創性を尊び、
科学・技術の全分野に注目する。
・
15. 技術に携わる者は、勇気をもち、常に**新しい技術**の開発に精進する。

